

**平成26年度 第2回 東京都地方独立行政法人評価委員会
高齢者医療・研究分科会議事概要**

1 日 時

平成26年8月4日（月曜日） 午後3時00分から午後3時27分まで

2 場 所

東京都庁第一本庁舎33階北側 特別会議室N1

3 出席委員

高久分科会長、河原委員、鈴木委員、南委員（分科会長を除き、五十音順）

4 審議事項

- (1) 平成25年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの業務実績評価の決定について
- (2) 平成25年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの財務諸表等に関する意見の決定について

5 その他

今後のスケジュールについて

6 議事概要

開会

- (1) 平成25年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの業務実績評価の決定について（事務局より）
 - 第1回分科会時に質問のあった利益相反委員会について概要を説明
 - 第1回分科会後に委員や法人から評価に係る意見がなかったため、資料1及び資料2が第1回から内容に変更がないことを説明

【平成25年度業務実績評価について質疑応答】※太字ゴシックが委員意見

■利益相反委員会にガイドラインはあるのか。

（事務局回答）

→基本方針や実施要項等を作成しており、それに基づいて運用している。

◎平成25年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの業務実績評価について、決定とした。

- (2) 平成25年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの財務諸表等に関する意見の決定について（事務局より）
 - 第1回分科会時に質問のあった行政サービス実施コスト及び機会費用について概要を説明
 - 第1回分科会後に委員より意見がなかったことを報告

【平成25年度財務諸表について質疑応答】※太字ゴシックが委員意見

■財務諸表8ページ注記事項「I 重要な会計方針」の「1 運営費負担金収益及び運営費交付

金収益の計上基準」に採用した基準について記載があるが、その他の基準の採用が困難な理由も明記したらどうか。

(事務局回答)

→法人と協議の上、決定したい。

■現金預金残高が多いため、負担金及び交付金とのバランスをとった方がよいのではないかと。
(事務局回答)

→診療報酬改定等の影響もあり、第2期中期目標期間中は当期総利益が増えることは考えにくい状況にある。第3期中期目標期間からは、電子カルテシステムのデータを活用した原価計算に基づいて、負担金及び交付金の算定を行う予定のため、バランスが図られると考えている。

■財務諸表中の事業報告書6ページに現在の患者1人当たりの診療単価の実績比較表が記載されているが、診療単価の目標値はどれくらいか。

(事務局回答)

→入院診療単価については、将来的には5万5千円程度を目指しているとセンターより聞いている。

■患者1人当たりの診療単価について、都立病院や民間病院との比較を示してほしい。

(事務局回答)

→健康長寿医療センターは高齢者の患者の割合が非常に高く、他の一般的な病院の比較対象になるのか判断が難しいところである。どのような特徴のある病院がメルクマールになるのか、今後法人と一緒に考えていきたい。

◎平成25年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター財務諸表について、分科会意見はなしと決定した。

(3) その他

○事務局より、評価結果の公表及び今後の分科会開催スケジュールについて説明(資料5)